

医療介護連携とリハビリテーション ～連携とは何か？～

密な連携という言葉に振り回された20年だったと思う。

なにか問題が起こるたびに、もっと密な連携をもっと密な連携という言葉のもとに、全てのトラブルは連携の不足というブラックボックスに押し込めることが可能であった。

便利な言葉である。そしてその便利さが故に、少なくとも僕は重要な視点を長年見落としていた。

どこまですれば密な連携なのか？ということである。

この密な連携を具体的に規定しなければ、僕たちはなにも次の行動に移すことはできないのだ。

顔の見える関係とかいつでも連絡がとれる関係とか、コンセプトとしてはいいのだが、その曖昧さが問題の起こったときに課題の所在を不明瞭にする。

その部分と連携の本質に関してお話をしたいと思う。



講師 張本 浩平 先生

●●●● 略歴 ●●●●

平成11年名古屋大学医療技術短期大学部卒業後、平成12年に同保健学科に編入学と同時に株式会社ジェネラス（愛知県名古屋市）にて、訪問リハビリ業務に従事。

平成19年より株式会社geneを立ち上げ、現在はセミナー事業・介護保険事業・出版事業などを行っている。セミナー事業は全国で年間360回開催、20,000人/年の専門職が受講している。

介護保険事業では、訪問看護ステーションを5箇所、通所介護を2箇所の運営をしており、出版部門では雑誌『訪問リハビリテーション』やMOOKなどを発行。また、名古屋大学にて地域理学療法学などの講義を担当している。

専門は、訪問リハビリテーションに関わる制度論および介護保険領域・生活期におけるゴール設定、リハスタッフのマネジメントである。

役職：名古屋大学医学部保健学科地域理学療法学非常勤講師
名古屋大学大学院医学系研究科THPコース非常勤講師

●●●●●●●●●●●●●●

講師

株式会社gene

代表取締役 張本 浩平 (理学療法士)

座長

山王リハビリ・クリニック 友清 直樹 (理学療法士)

日時

2019年 7月29日 (月)

19:00▶21:00 開場 18:30～

申込締切
7月24日(水)
定員 175名
※先着順
-参加費無料-

会場

大田区民ホール・アプリコ 小ホール

東京都大田区蒲田 5-37-3 Tel 03-5744-1600

○ JR 京浜東北線 東急多摩川線・池上線「蒲田駅」東口から徒歩約3分

○ 京浜急行線「京急蒲田駅」西口から徒歩約7分

医療と介護の連携に日頃お悩みの方、興味のある方、どの職種の方でもぜひご参加ください。

■申込み■ 事前申込み制 裏面の参加申込書をご記入の上 FAX か、下記アドレスへメールでお申込み下さい。

FAX : 03-5734-7018 Mail : tiikireha-e@tokyo-hmt.jp

※メールにて申込みの場合、7月29日講演会申込みと明記の上、氏名・連絡先・所属(病院・施設)名・職種をご連絡下さい。

■主催■ 区南部地域リハビリテーション支援センター

■後援■ 公益社団法人 東京都理学療法士協会
一般社団法人 東京都作業療法士会
品の輪～品川区リハビリテーション・ネットワーク～

■お問合せ■

荏原病院 地域医療連携室
区南部地域リハビリテーション支援事業 町田・関
TEL 03-5734-8000 (内線 1619)

FAX送信票

荏原病院 地域医療連携室 町田 宛

FAX: **03 - 5734 - 7018**

7月29日(月)開催 地域リハビリテーション支援センター講演会

■ 参加申込票 ■

所属（病院・施設）名	電話番号

ふりがな 氏名	役職・職種

※恐れ入りますが、令和元年7月24日（水）までにお申込みをお願いいたします。

お問合せ先

荏原病院 地域医療連携室

区南部地域リハビリテーション支援事業担当：町田

TEL 03-5734-8000（内線 1619）

Mail tiikireha-e@tokyo-hmt.jp